

大樹町酪農ヘルパーアーティスト 佐川麻代 個展

北海道広尾郡大樹町では、地方創生の国庫補助金を活用し、昨年2016年より、酪農ヘルパー業に携わりながら、町内遊休施設をアトリエにして制作活動を行うアーティストの募集を開始しました。東京の(株)AGホールディングズが、本事業の企画運営に携わっています。

この度、大樹町に移住した酪農ヘルパーアーティスト第1号である佐川麻代氏の個展を下記の通り開催いたします。日本画や立体作品、デッサンなど、約20点の佐川氏の作品が展示されます。是非ご高覧下さい。

記

日時 3月27日(月) - 4月2日(日)

時間 9:00 - 19:00

入場料 無料

会場 大樹町生涯学習センター オークホール (Tel:01558-6-5555)

住所 北海道広尾郡大樹町双葉町6番地1

* 尚、3月27日(月) 午前11時より、展示会場にてオープニングセレモニーを開催いたします。

問合せ先：大樹町役場企画商工課企画係

Tel : 01558-6-2113 Mail:kikaku-kakari@town.taiki.hokkaido.jp

(株)AGホールディングズ沢辺 Tel : 080-6520-4550 Mail : msawabe@ag-h.net

参考記事：十勝毎日新聞 2017年1月31日付

大樹の芸術家移住第1号
佐川さん酪農と創作奮闘

【大樹】若手芸術家を酪農ヘルパーとして受け入れる町の移住促進事業で、名古屋出身の佐川麻代さん(29)が、昨年大樹町に移り住んでいる。酪農ヘルパーとしては研修中だが、「仕事に慣れて制作活動の時間も取れるようになってきた」と新生活に意気込んでいる。

3月に町内で作品展も

芸術家を目指す若者は、諦めざるを得ない状況がある。生活を支える仕事とのルバーが不足しており、昼間立離れ、芸術の進歩にある程度とまった時間

佐川さんはこの事業の初

大樹に移住後、昨午月一度来町し、酪農ヘルパーを体験アトリエを運営。その後、9月末に移住し、10月からヘルパーの研修を始めた。朝は午前4時から、夕方は午後4時から4時間、搾乳作業や牛の世話の仕事をやり、昼間の3時間を制作活動に充てている。

今は酪農家の住所や農家の機器の使い方を覚えていく段階。最近はお牛を飼えながらミルクを搾る方法を覚えたといふ「小さいことだが、一つづつできるようになどアツシヨンが上がる」と意欲的に取り組んでいる。

一方、制作活動は「疲れてなかなかできないが、よく頑張らなければいけない」という。移住前はラフエで働いており、なかなか制作はできなかったが、「仕事に慣れては、大樹の方が制作時間が取れる」と話す。

日本画を中心に油絵、イラストやさまざまなジャンルで作成を手掛けるが、大樹での暮らしの中で自然に興味を持ち、山の絵を描き始めた。今年3月には町生涯学習センターで展示会を行う予定。佐川さんは東

人の移住が決まってくれしい。引き続き事業に取り組みたい」としている。(伊藤亮太)